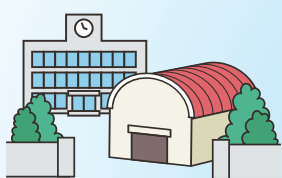


避難先の検討

「避難」とは「難」を「避」けること。以下の4つの行動があります。

行政が指定した避難場所への 立退き避難

町からの情報を確認し、最寄りの
避難所に避難しましょう。



小・中学校、公民館等



安全な親戚・知人宅への 立退き避難

日頃から災害時に避難することを
相談しておきましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



親戚・知人宅

普段から
どう行動するか
決めておき
ましょう

ホテル、旅館



安全なホテルや旅館への 立退き避難

通常の宿泊料が必要です。
事前に予約・確認しましょう。

※ハザードマップで安全かどうかを確認しましょう。



在宅避難

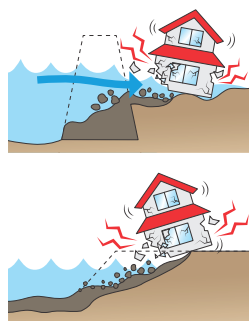
屋内安全確保

ハザードマップで以下の「**3つの条件**」
を確認し、自宅にいても
安全かを確認することが必要です。

※土砂災害の危険がある区域では立退き避難が原則です。

「3つの条件」が確認できれば、浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です。

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に 入っていない



(入っていると…)

氾濫流

流速が速いため、木
造家屋は倒壊する
おそれがあります

河岸侵食

地面が削られ家屋
は建物ごと崩壊す
るおそれがあります

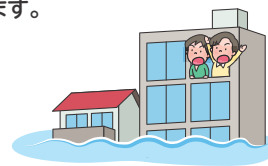
② 浸水深より居室は高い

4階	5m～10m未満 (3階床上浸水～ 4階軒下浸水)
3階	
2階	3m～5m未満 (2階床上～軒下浸水)
1階	0.5m～3m未満 (1階床上～軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

③ 水が引くまで、水・食料 などの備えが十分にある

(十分じゃないと…)

水、食料、薬等の確保が困難にな
るほか、電気、ガス、水道、トイレ等
の使用ができなくなるおそれがあ
ります。



水が引くまでの時間(浸水継続時間)はハ
ザードマップに記載がありませんので、町
までお問い合わせください。

豪雨時の屋外の移動は、車も含め危険です。

やむをえず車中泊する場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分に確認してください。

マイ・タイムライン

マイ・タイムラインとは、台風や大雨などの災害から自分の身を守るための「防災行動計画」です。

いざというときに安全に避難ができるように、あらかじめ自分用のマイ・タイムラインを作っておきましょう。

